

## 経営体育成支援事業目標達成状況（令和元年度）

事業実施主体名	金ケ崎町
---------	------

承認年度	地区名	達成状況に関する事業実施主体の所見（評価）
平成 27 年度	上平沢	<p>経営コストの縮減については、1 年目で目標達成した。</p> <p>農作物の高付加価値化については、令和元年度は単収 600 kg /10 a が見込める「いわてっこ」を 3.57ha を作付けし、目標達成となった。</p> <p>したがって、本年度をもって報告終了とするが、町では経営体の更なる経営発展に向けて、引き続き支援を行っていく。</p>
平成 27 年度	御免	<p>経営コストの縮減については、1 年度目で目標達成した。</p> <p>経営面積の拡大については、R 元は経営地 6.19ha に加え、秋作業を 2.78ha 受託したため、合計 8.97ha となった。令和 2 年度は秋作業をさらに 1.0ha 以上受託する予定があり、達成する見込みが高いことから、概ね達成とする。</p> <p>したがって、本年度をもって報告終了とするが、町では経営体の更なる経営発展に向けて、引き続き支援を行っていく。</p>
平成 27 年度	六原	<p>経営コストの縮減については、1 年度目で目標達成した。</p> <p>農業経営の複合化については、令和元年度からたまねぎ 0.91ha を作付けしたため、目標達成となった。</p> <p>したがって、本年度をもって報告終了とするが、町では経営体の更なる経営発展に向けて、引き続き支援を行っていく。</p>
平成 28 年度	永栄 4	<p>経営面積の拡大については、R 2 年当初の経営面積に加え、組合への合流等について地域内の 1 農家（面積合計約 3 ha）と具体的な協議を進めており、目標達成に向けて取り組んでいる。</p> <p>農業経営の法人化については目標年度での達成に至らなかったが、令和 2 年度の法人化に向けて説明会・座談会の開催で構成員の意識醸成・意思統一を図っていくこととしており、目標達成に向け引き続き指導していく。</p>
平成 29 年度	平林	<p>経営面積の拡大については、目標達成となった。</p> <p>耕作放棄地の解消については、R 元年度において拡大できず、目標未達成となったが、R 2 年度において 0.57ha を耕作する計画であるため、翌年度の目標達成が見込まれる。</p> <p>町では、翌年度の確実な目標達成に向けて、引き続き経営体へ支援を行っていく。</p>

平成 29 年度	永栄 5	<p>経営面積の拡大については目標達成となった。</p> <p>農産物の高付加価値化については、天候等の影響による生育不良により一等評価 3%程度となり、目標未達成となった。</p> <p>R2 年度は各組合員が効率的に作業を行い、連携して栽培管理の徹底に努め、選別機に複数回かける等の一等比率の向上を期するよう取り組む。</p> <p>町では、翌々年度までの成果目標の達成に向けて、関係機関と連携して技術指導を行うなど支援を行っていく。</p>
平成 30 年度	和光 1、2	<p>経営面積の拡大については 1 年度目に目標年度の目標を達成した。</p> <p>付加価値額の拡大については、販売額の増大・経費の節減に努め付加価値額の拡大を図るよう指導する。</p>